

相生市立図書館

図書館ゆうびん YA向け

2025年 新春号



〒678-0053 兵庫県相生市那波南本町11番1号

TEL 0791-23-5151



あけましておめでとうございます。2025年はへびどし！
へびが登場するおすすめ本の紹介からスタートします！

『ぬばたまおろち、しらたまおろち』白鷺 あおい//著 東京創元社 F-3

妖怪の存在が信じられている小さな村。15歳の綾乃は、親友のアロウにプロポーズされ、困惑している。ある時村にやってきたサーカスから逃げ出した大蛇に襲われた綾乃は、箒に乗った魔女の由希恵に助けられる。綾乃は彼女の母校ディーヌ学園で魔法を学ぶことになるが…。魔法学校に寮生活、妖怪、UMA、恋愛まで盛りだくさんのファンタジー。



今年もやります！受験生応援プロジェクト！！

1月11日（土）から3月9日（日）は学習室のほか、201会議室も自習室として開放します。2階思索の広場では、おみくじコーナーや、勉強の息抜きになるような「ほっとする本」の展示もあります。お楽しみに！

相生市立図書館は受験に向かってがんばる中高生を応援しています

受験生 応援プロジェクト！

期間 令和7年1月11日（土）～3月9日（日）

期間中は201会議室を学習利用に開放します

(201会議室は受験生優先利用とします。なおイベント・会議等の利用がある場合は優先させていただきます。)

ルールを守って
利用してね！



①合格祈願鉛筆プレゼント！ ②ブドウ糖タブレット無料配付！！

先着50名様

糖分切れになったら頼ってね

③ブランケット無料貸出！ ④晴れことばおみくじ

(ひざ掛け)

寒さ対策に使ってくださいね

心が晴れるおみくじひいてみよう！

※①～③は1Fカウンターへお申し出ください。【お問合せ】相生市立図書館 相生市那波南本町11-1 ☎ 0791-23-5151



Interview with a teacher !

インタビューに答えてもらったのは、双葉中学校の堀田先生です。

数学を担当され、女子バレーボール部の顧問をされています。(2024年12月現在)

Q1 どんな中学生・高校生でしたか？

A1 姫路市で生まれ育ちました。小学校から剣道をしていて、中学校、高校の思い出は剣道一色です。友達も剣道仲間が多かったですね。

高校1年生から長い間、ひとつ年上の剣道部のマネージャーと付き合っていました。それまで自分の服装や髪形などを気にしたことがなかったのですが、彼女にアドバイスされ、身なりに気づかうようになりました。恋愛をしなければ気づけないことだったと思います。



Q2 いつ今の仕事に就くことを決めましたか？

A2 高校卒業後、広島県の大学で工学を学びました。そこで「とりあえず資格が取れるから」と数学の教員免許を取りました。その後、アルバイト先で出会った教員を目指す先輩に影響され、本格的に生涯の仕事として考えるようになりました。もっと教育について学びたいと思い、兵庫県の大学院に入学しました。人と出会い、自分の価値観を変えてもらうことがたくさんあったと思います。

Q3 中学生・高校生の頃、どんな本を読みましたか？

A3 中学生、高校生の頃は忙しくてじっくり本を読んだ記憶はあまりないです。漫画なら『メジャー』や『鋼の錬金術師』を読んでいました。大学から本を読むようになり、心理学や哲学についての本をたくさん読みました。心理学者アドラーの教を説いた『嫌われる勇氣』は、読みやすいと思います。米澤穂信さんの小説『氷菓』シリーズも好きでした。今は東野圭吾さんや辻村深月さんの本をよく読みます。人の心の暗い部分にこそ人間らしさがあると思うので、登場人物の心の葛藤が描かれているミステリーが好きです。本屋に行くのも好きです。たくさん本の中から、その時の自分が求めることが書かれている本を見つけ出すので、本を選ぶことは自分と向き合うことのように思います。

Q4 中学生・高校生にどんな言葉をかけたいですか？

A4 姫路から広島に行き、大学院ではいろんな都道府県から学びに来ている人たちと出会いました。考え方や意見の違う人と出会っても、排除せず、まずは違いを受け入れる気持ちが大切だと感じました。受け入れ、試してみても、やっぱり自分とは合わないと思ったら、離れたりやめたりしたらいいと思います。それもまた自分を知ることができる、貴重な機会だと思います。



楽しいお話をありがとうございました！

『クスのノキの番人』
東野 圭吾//著 実業之日本社 F-7

『嫌われる勇氣』
岸見 一郎・古賀 史健//著 ダイヤモンド社 159

堀田先生のおすすめの本はYAコーナーにあります。

読んでみてくださいね。



NEW

YA コーナーに新しく入った本

NEW



『10代で知っておきたい「同意」の話』ジャスティン・ハンコック//文
ヒューシャ・マクアリー//絵 芹澤 恵 高里 ひろ//訳 河出書房新社 36

人は毎日たくさんの選択をする。何を着て、何を食べて、何をするか、しないか。その選択に自分の、もしくは相手の「同意」はあるだろうか。「いいえ・いや・NO」と言われなければ、答えは「はい・いいよ・YES」なのか。相手との関係性でNOと言えない場合もあるかもしれない。人間関係に大きく関わる「同意」について、ユーモアを交えてわかりやすくひもとく。

『月に移住!?宇宙開発物語』縣 秀彦//監修 荒船 良孝//文 講談社 53

飛行機が飛んでいるところは空?宇宙?その境目を考えることから始まる、とっても身近な宇宙の本。まだまだ謎がいっぱいの宇宙。でもいつか住むかもしれない場所、と仮定して人類と宇宙の歴史を知り、現在、そして未来を考えます。宇宙のことなんてわからない!難しそう!って思った人にこそおすすめしたい一冊です。



『ヤングタイマーズのお悩み相談室』石川 宏千花//作 くもん出版 91-I

悩み多き中学生。友情や恋、家族との関係。大人や社会に対して怒りを抱えている子、みんなのように悩みがないことを悩んでいる子も。ラジオ番組「放課後の放課後」では、彼らの悩みに寄り添い、アドバイスをおくる。ふたりのパーソナリティーの真剣なのに脱線しがちなおしゃべりを聴いているうちに、あなたの悩みもほんの少しだけ軽くなる、かも?

『銀河の図書室』名取 佐和子//著 実業之日本社 F-ナ

図書室でひっそりと活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する弱小同好会。ある時、部長の風見が”ほんとうの幸いは、遠い”というメッセージを残して失踪する。部員たちは宮沢賢治の詩や言葉、未完の傑作『銀河鉄道の夜』について語り合いながら、風見の謎を追い、真実と直面する。宮沢賢治作品だけでなく、部員たちのおすすめの本もたくさん紹介されます。



『葉っぱの地図』ヤロー・タウンゼンド//作 井上 里//訳 小学館 93-タ

12歳のオーラは村はずれの小屋で愛馬と暮らしている。母は植物と話す才能を持ち、薬草で村人たちを助けてきた。しかしある出来事から孤立し、母が病倒した今、オーラは心を閉ざし生きていた。ある時、村で謎の病が流行しはじめる。母の才能を受け継いだオーラは、母の誇りを取りもどし、大好きな庭と愛馬を守るため、母の手帳を手がかりに治療薬を探す旅に出る。

残した作品は愛され続ける。2024年に亡くなった偉大な作家たち。

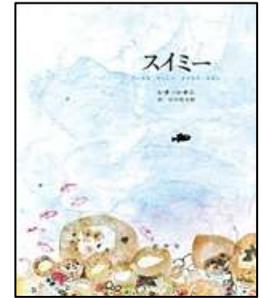


たにかわ しゅんたろう
谷川 俊太郎さん (2024.11 没)

『へいわとせんそう』 たにかわ しゅんたろう//ぶん Noritake//え
ブロンズ新社 P-タ

平和の大切さを生涯説き続けた谷川さん。「へいわ」と「せんそう」は、なにがちがうのか。シンプルな絵と短い言葉が胸に響きます。

『スイミー』 レオ=レオニ//さく 谷川 俊太郎//やく 好学社 P-レ
ひとりぼっちだったスイミーが、仲間を守り「ぼくが、めになろう」ってリーダーになる場面、かっこよくて印象的でしたね。



せな けいこさん (2024.10 没)



『おばけのてんぷら』 せな けいこ//さく・え ポプラ社 P-セ

うさこがつくる、おいしそうなてんぷらのおいは山のおばけのもとへ。おなかをすかせたおばけは、かぎあなからしのびこみ…。うさこもおばけも、おっちょこちょいで、どっちも大好き！めがねうさぎのシリーズ。



『ねないこだれだ』 せな けいこ//さく・え 福音館書店 P-セ

ふくろうにみみずく、どらねこ、それともどろぼう？いえいえ、夜中に起きているのは…おばけ！夜の9時になったら、こどもは寝る時間！起きていたらおばけに連れていかれるよ～！っておどされた覚えがある人もいるのでは。今見ると、とってもかわいい絵本です。

なかがわ りえこ
中川李枝子さん (2024.10 没)

『ぐりとぐら』 なかがわ りえこ//作 おおむら ゆりこ//絵
福音館書店 P-ナ

食べることが大好きなのねずみのきょうだい、ぐりとぐら。森で見つけた大きなたまごでなにをつくろうか…？実の妹の山脇百合子さん（旧姓：おおむら ゆりこ 2022.9 没）との共作。



『そらいろのたね』 なかがわ りえこ//作 おおむら ゆりこ//絵 福音館書店 P-ナ

ゆうじはきつねと宝物をとりかえっこします。ひこうきのおもちゃの代わりにもらった、そらいろのたねを地面に植えて水をかけると…！ぐりとぐらもゲスト出演していますよ。